

学校名	神崎市立千代田中部小学校		
1 前年度 評価結果の概要	・学校目標の達成に向けて、全教職員が、校務分掌や成果指標を明確に見定めて、業務に取り組むことができたので、ほとんどがA評価だった。 ・前年度からの課題であった「睡眠時間の確保」については、目標の90%を達成することができなかった。 ・「時間外勤務時間」の上限については、中間評価に比べて、守れた教職員が3%増えた。教職員の「業務効率化の推進」「時間外勤務時間の削減」への意識の高まりがみられる。 ・賞賛活動については、保護者・児童・地域住民に、好評であり、継続して欲しいという要望が多い。		
2 学校教育目標	「賢く 優しく 逞しく生きる」児童の育成		
3 本年度の重点目標	1 自己有用感の育成・承認活動の発展 2 学力向上（・校内研究の充実 ・新学習指導要領への対応 ・語彙力・表現力の育成 ・家庭学習の充実） 3 全職員で全児童を見守る組織作り（ユニバーサルデザイン教育の推進）		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・マイプランについて、年間に2回振り返りを行い、自身の取り組みへの意識の継続化を図る。
	○主体的な学びにつながる学習過程の工夫（算数科における導入や見通しの工夫と、終末の適応問題の取り扱い）	○算数科の授業で学習過程の工夫により、基礎的基本的な内容の確実な習得に結び付けたと回答した教師80%以上	・校内研究で、学習過程の工夫（導入や見通しなど）を視点にした授業づくりについて、研究を深める。
	○語彙力・表現力の育成	○学習状況調査等の記述式の問題で、無回答率が県平均よりも下回る。 ○本の目標貸出冊数を達成した児童80%以上	・児童の読書意欲を高める働きかけを行う。
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道德に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童80%以上 ○年間を通して、ボランティア活動へ参加したと答えた児童が80%以上。	・道德に関するアンケート（挨拶、言葉遣い、縦割活動、無言掃除）を実施する。 ・ふれあい道德教育を年1回以上行う。 ・保護者や地域の方と連携した体験活動を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、組織的対応ができていると回答した教師80%以上	・いじめの覚知・認知に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修会を年間に2回以上行う。 ・心のアンケートを毎月実施する。
	◎自己肯定感・自己有用感の育成	◎自己肯定感・自己有用感を尋ねるアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童80%以上	・支持的風土の学校・学級づくりに努め、日頃から、自分や友達のよいところを見つけほめる白鳥運動（各教職員週に1～2名）を推進する。
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童の交通事故を0（ゼロ）にする。 ○安全に気を付けて登下校できたかを尋ねるアンケートで、肯定的な回答をした児童80%以上 ○ヘルメット着用率100%を目指す。	・学級活動で、児童に安全な登下校について考えさせる授業を行う。 ・登校班での話し合いを月1回行い、安全に登下校する意識をもたせる。
	○自らの生活習慣を見直し、修正できる能力の育成	○睡眠時間の確保について尋ねるアンケートで、肯定的な回答をした児童80%以上	・生活習慣アンケートで、食生活や睡眠時間の状況について調べる。 ・改善が必要な児童については、個別に対応する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・パソコンによる業務管理の徹底を管理職自ら行う。
	○3部会制の導入による学校運営への参画	○自らの校務分掌において、学校目標達成のための働きができたと回答した教師80%以上	・自己申告書の自己目標と学校評価で担当した校務分掌上の目標を連動させ、日常の業務を遂行する。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○ユニバーサルデザインに基づく教育環境整備	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境整備 ○授業のUD化の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境整備について尋ねるアンケートで、肯定的に回答した教師80%以上。 ○ユニバーサルデザインの視点を意識して授業づくりを行った教職員80%以上。	・特別支援教育に対する意識を高めるユニバーサルデザイン教育について、特別支援教育コーディネーターを中心に、校内研修会を年に2回行う。 ・特別支援教育について、校内研修会を年1回以上行う。
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育			
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・		